

ハボタン

もともとは冬期の花壇や鉢花用として用いられていたが、現在では高性品種の改良が行われ、切り花としても用いられている。正月を中心とした冬期商材として注目される。

学名 *Brassica oleracea* アブラナ科
和名 葉牡丹 (ハボタン)、阿蘭陀菜 (オランダナ)
原産地 ヨーロッパ

特性・・・多年草だが、園芸上は夏播き1年草扱い
開花特性・・・
収穫期・・・11～12月頃
栽培環境・・・日当たりが良く、排水性の良い土壌

1坪あたりの植え付け本数・・・約80～130本/坪
1株あたりの収穫本数・・・1本
価格・・・カタログ参照



播種

播種時期・・・7～8月
発芽条件・・・
発芽適温・・・25℃
発芽日数・・・2～3日

定植

定植時期・・・8～8/下旬定植
定植間隔・・・株間条間12～15cmの6～8条植
畝・・・
ネット・・・1段
マルチ・・・

肥料

元肥・・・N-P-K=1.0-1.0-1.0kg/a
pH・・・6.0～6.5
追肥・・・N-P-K= - - kg/a
(10月中旬頃に肥切れするように施肥する)

作型

◆普通栽培・・・7～8月播種、8～8/下旬定植、
11～12月出荷。露地栽培可能。

病虫害

病気・・・黒腐れ病 (特に10～11月頃)
害虫・・・コナガ

出荷

11月下旬～12月下旬にかけ、外側の緑葉を2～3層残して下葉を落とし、水あげして出荷。
基本的に水あげや花もちが良い。

管理

定植適期は本葉2～4枚頃。
移植は好まないのので、なるべく幼苗で定植する。
本葉15枚頃 (草丈30cm頃) から順次、下葉を落として換気を良くし、茎の太りを抑える。

肥料が残っていると着色不良の原因となるので、10月中旬頃には肥切れを起こすように施肥する。特に窒素成分の肥料は抑えた方が無難。

灌水は、定植直後は十分に行うが、活着以降は控え目にし、茎が曲がらないように注意する。ただ、生育後半に極端に乾燥させると落葉し、ボリュームが少なくなるので注意。

耐寒性が強く、露地でもおおむね問題なく栽培できるが、葉にフリンジのかかる縮緬系は霜や凍害に弱い傾向がある。

そのため、可能であれば霜よけを行う方が良い。また、縮緬系は0℃以下にならないよう管理すること。